

理工学部カリキュラムポリシー<2022年度以降入学者>

	大学共通	理工学部 理工学科
CP	成蹊大学は、「学位授与の方針」を踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施します。	成蹊大学理工学部理工学科は、「学位授与の方針」を踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施します。
CP1	(CP1) (各学科、各専攻の)専門分野を系統的・体系的に学修できるように、各科目を適切に配置する。	<p>(CP1) 理工学科の専門分野を系統的・体系的に学修できるように、各科目を適切に配置します。</p> <p>(CP1-1) 理工系基礎科目が習得できるよう、社会人基礎力科目、ICT基礎科目、理工学基礎科目を設け、数学、ICT、物理、化学などの基礎科目を低学年次を中心に年次進行に合わせて配置するとともに、様々な分野で信頼される技術者となる倫理を身につけられる科目を配置します。</p> <p>(CP1-2) 個々の学生が自身の目指す将来の目的を達成するための学修計画が可能になるよう専攻コア科目、専攻応用科目、専攻発展科目を配置し、広範な専門技術の中から得意な技術を複合して実践適用できる能力を身に付けられるようにします。</p> <p>(CP1-3) 十分なエンジニアリングデザイン能力(解の見えない問題に対して多面的な解決方法を模索し、最良の解法を実施した上で、得た解について有効性を公平に評価できる能力)を身につけられる科目を配置します。</p>
CP2	(CP2) 広い教養と汎用性の高い技能を修得するための科目群「成蹊教養カリキュラム」を設ける。	(CP2) 広い教養と汎用性の高い技能を修得するための科目群「全学共通科目」を設けます。
CP3	(CP3) 視野を広げ、多面的な思考を促進するとともに、異分野の学生との交流、多様な人々との協働を図るために、学部学科の枠を超えて幅広く学ぶことのできる仕組みを設ける。	<p>(CP3) 視野を広げ、多面的な思考を促進するとともに、異分野の学生との交流、多様な人々との協働を図るために、学部学科の枠を超えて幅広く学ぶことのできる仕組みを設けます。</p> <p>(CP3-1) 高いチームワーク力(複数の異なる分野の専門家と十分なコミュニケーションを取り、協調して現実問題に取り組み、解決していく能力)を身につけられる専攻科目・専攻融合科目を配置します。</p> <p>(CP3-2) 時代に応じて他学部他学科とのコラボレーション(副専攻)を生み出し、多元的な視点で物事を考える素養を身につけられる科目を配置します。</p>
CP4	(CP4) 思考力、表現力、課題解決力を集中的に錬成するために、(各学科の教育課程の適切な年次に)少人数の演習科目を置き、さらに卒業論文(またはこれに代わるもの)の作成を必修とする。	<p>(CP4) 思考力、表現力、課題解決力を集中的に錬成するために、適切な年次に少人数の演習科目を置き、さらに卒業論文の作成を必修とします。</p> <p>(CP4-1) 効果的な反転学習やアクティブラーニング、PBLを実践し、小さな気づきから迅速な試行錯誤、大きな成果につながるシームレスな教育を行い、最終的に集大成である卒業研究・卒業論文の作成につなげます。</p>
CP5	(CP5) 自発性、積極性の達成のため、留学、インターンシップ等の単位認定の仕組み、及び上級者向けの選抜型の科目を設ける。	<p>(CP5) 自発性、積極性の向上のため、留学、インターンシップ等の単位認定の仕組み、及び上級者向けの選抜型の科目を設けます。</p> <p>(CP5-1) 留学、インターンシップ、ボランティア、PBL、卒業研究等の学修を通じて、個々の学生の学修計画に応じて広範な应用能力を自発的かつ積極的に身に付けるとともに、継続的に学修する習慣づけとなる科目を配置します。</p>